

**子供の未来応援基金**  
**第3回未来応援ネットワーク事業**  
**採択結果について**

**平成31年1月**

**子供の未来応援国民運動推進事務局**

# 第3回未来応援ネットワーク事業について

## 1. 支援対象事業の内容

草の根で貧困の状況にある子供たちに寄り添った支援活動を行うNPO法人等を支援し、社会全体で子供の貧困対策を進める環境、応援ネットワークを構築



様々な困難を抱える子供たちに寄り添ったきめ細やかな支援を届ける

## 2. 対象団体

公益法人(公益社団法人又は公益財団法人)

一般法人(一般社団法人又は一般財団法人)

NPO法人(特定非営利活動法人)

その他ボランティア団体、町内会など非営利かつ公益に資する活動を行う法人又は任意団体

## 3. 申請結果

平成30年8月7日～9月21日にて公募したところ、358件、総額約11億8389万円の申請があった。

## 4. 審査

子供の未来応援基金事業審査委員会を平成30年12月11日に開催。

# (参考) 基金による支援対象事業等について

対象事業	期待する効果の例	審査の視点	支援対象経費等
ア．様々な学びの支援	進学率の向上や 退学率の低減等	<p><b>計画性</b> 目的に沿った目標の達成に向けた計画が立てられているか</p> <p><b>連携</b> 地域における多様な関係者と連携する工夫があるか</p> <p><b>広報</b> 積極的な広報、情報発信の工夫があるか</p> <p><b>継続性</b> 基金による支援後の見通しがあるか</p>	<p>支援回数は原則 3 回までを上限とする。</p> <p>支援額は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請団体は500万円、</li> <li>・2回目以降の団体は300万円 (ただし、2回目の団体は前回交付額の7割と比していずれか高い額)</li> </ul> <p>を上限とする。</p> <p>以下のような事業に必要な費用を支援対象とする (費目は例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝金</li> <li>・旅費</li> <li>・賃金</li> <li>・家賃</li> <li>・光熱水費</li> <li>・備品購入費</li> <li>・消耗品費</li> <li>・借料損料</li> <li>・印刷製本費</li> <li>・通信運搬費</li> <li>・委託費</li> <li>・雑役務費</li> <li>・保険料</li> </ul>
イ．居場所の提供・相談支援	社会的孤立の解消等		
ウ．衣食住など生活の支援	栄養ある食事の確保や正しい生活習慣の習得等		
エ．児童又はその保護者の就労の支援	就労率の向上や安定した収入の確保等		
オ．児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援	児童養護施設退所者の生活基盤の確立、里親委託率の向上等		
ア～オのほか、「その他、貧困の連鎖の解消につながる事業」も対象事業となる。			

# 第3回未来応援ネットワーク事業の採択結果について

- 358団体から申請のあった事業の中から、計画性、連携とその効果、戦略的な広報、継続性の観点等から審査を行い、71団体を採択することとなった。支援予定総額は約2億800万円(1団体当たり平均約293万円)。
- 事業類型別、団体種別、新規・継続別、支援金額別、地域別の採択数は以下のとおり。

## 事業類型別

様々な学びを支援する事業	20
居場所の提供・相談支援を行う事業	19
衣食住など生活の支援を行う事業	12
児童又はその保護者の就労を支援する事業	4
児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業	5
その他、貧困の連鎖の解消につながる事業	11

## 支援金額別

100万円未満	10
200万円未満	4
300万円未満	18
400万円未満	26
500万円未満	8
500万円	5

## 地域別

団体所在地で整理

北海道・東北	8
関東	22
中部	11
近畿	16
中国・四国	3
九州・沖縄	11

## 団体種別

公益法人	0
一般法人	10
NPO法人	48
その他任意団体	13

## 新規・継続別

新規	44
継続 (2回目・3回目)	27 (14・13)

# 第3回未来応援ネットワーク事業 採択団体一覧

団体名	所在地	団体名	所在地	団体名	所在地	団体名	所在地
北見NPOサポートセンター	北海道	全国こども食堂支援センター・むすびえ	東京都	アンビシャス・ネットワーク	愛知県	おかえり	奈良県
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会	北海道	全国フードバンク推進協議会	東京都	こどもNPO	愛知県	げんきカレー	奈良県
フードバンク岩手	岩手県	東京子ども子育て応援団	東京都	こどもサポートネットあいち	愛知県	市民ひろばなら小草	奈良県
アスイク	宮城県	豊島子どもWAKUWAKUネットワーク	東京都	「生」教育助産師グループOHANA	愛知県	こども食堂「ネバーランド」	鳥取県
STORIA	宮城県	パルシック	東京都	全国再非行防止ネットワーク協議会	愛知県	あかね	岡山県
秋田たすけあいネットあゆむ	秋田県	ワンダフルキッズ	東京都	あめんど	滋賀県	山口せわやきネットワーク	山口県
明日飛子ども自立の里	福島県	Learning for All	東京都	わっか	滋賀県	いるかねっと	福岡県
しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島	福島県	キッズドア	東京都 (宮城県)	アートコミュニティ	大阪府	フードバンク福岡	福岡県
ひたちNPOセンター・with you	茨城県	ブリッジフォースマイル	東京都 (熊本県)	大阪市よさみ人権協会	大阪府	抱樸	福岡県
リヴォルヴ学校教育研究所	茨城県	サードプレイス	神奈川県	キャリアブリッジ	大阪府	心澄	長崎県
だいじょうぶ	栃木県	ゆがわらっことつくる多世代の居場所	神奈川県	タウンスペースWAKWAK	大阪府	まなびの部屋	長崎県
ターサ・エデュケーション	群馬県	教育研究所	神奈川県 (富山県)	ハートフレンド	大阪府	逢桜の里	熊本県
ひこばえ	群馬県	えがおプロジェクト	富山県	ふーどばんくOSAKA	大阪府	いこいスペース こあまるちゃん家	熊本県
さいたまユースサポートネット	埼玉県	ハッピーウーマンプロジェクト	富山県	未来SS塾	大阪府	スタディライフ熊本	熊本県
フードバンクネット西埼玉	埼玉県	はびすまサークル	石川県	eboard	兵庫県	まど	大分県
ウイズアイ	東京都	フードバンク信州	長野県	こどもサポート財団	兵庫県	らしくサポート	宮崎県
女性のスペース結	東京都	中ノ町げんき食堂	静岡県	女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ	兵庫県	鹿児島ボランティアバンク	鹿児島県
すみだ食堂飲食店の会	東京都	あうずっと	愛知県	フードバンク関西	兵庫県		

団体名末尾に「」が付いている団体は、継続支援団体。 団体所在地が主たる活動地と異なる団体については、括弧内に主たる活動地を記載。

# 第3回未来応援ネットワーク事業 採択団体例

## 1. 様々な学びを支援する事業

NPO法人 山口せわやきネットワーク（山口県）

継続支援団体

### 事業内容

就学援助受給世帯やひとり親世帯の学習環境の厳しい中学生を主な対象とし、少人数で学習ボランティアが寄り添い、毎週1回、市内5か所で学習支援を実施（昼食付）。基礎学力や学習習慣を付け、高校進学を目標とする。

困難を抱える子供たちが孤立しないよう、毎月1回、市内3か所において子供食堂を実施。

上記のほか、大学生等若い世代を対象に、人材育成事業も実施。



## 2. 居場所の提供・相談支援を行う事業

任意団体 中ノ町げんき食堂（静岡県）

### 事業内容

ひとり親世帯や経済的困窮家庭の親子を対象とした子供食堂を月2回実施。一般家庭の子供も有料で参加できるようにすることで、子供たちの協調性の向上や地域とのつながりを図る。

食事提供だけでなく、地域の留学生との交流や保護者の相談の場としても活用されている。





### 3 . 衣食住など生活の支援を行う事業

#### NPO法人 フードバンク関西（兵庫県）

##### 事業内容

経済的にも精神的にも極めて困難な状況にある世帯に対し、生活基盤を支える食支援を実施。子供たちが健全に育成される環境を整えることを目的とし、フードバンク事業で収集した食品を月1回各世帯に宅配する。

他の民間団体とも連携をし、食支援以外にも生活相談や交流支援等も行う。



### 4 . 児童又はその保護者の就労を支援する事業

#### NPO法人 明日飛子ども自立の里（福島県）

##### 事業内容

貧困の状態にある子供たちのうち、不登校の子供や中卒者、高校中退者等が働く気持ちの準備をすることを目的に、社会生活を送るために必要な知識やトレーニングを実施。

ビジネスマナーやコミュニケーション能力、パソコン技能等を習得し、個別面談や実際の仕事体験を通して自信をもって社会に出られるよう支援を行う。



## 5 . 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業

一般社団法人 スタディライフ熊本（熊本県）

### 事業内容

児童養護施設の退所者等が、安定した生活を送るためのシェアハウスの運営や生活技術支援を実施。

退所者に、コミュニケーション能力、金銭管理能力、調理や家事等の基礎的な生活スキル、セルフマネジメント等の経済的・社会的・精神的に自立していく力を身につけてもらい、就学・就労につなげる。



## 6 . その他、貧困の連鎖の解消につながる事業

NPO法人 秋田たすけあいネットあゆむ（秋田県）

継続支援団体

### 事業内容

苦しくても支援に対して手を挙げられない・声を出せない「隠れた」貧困世帯を支援することを目的に「制服リユース事業」のほか、「無償の学習室」「子供食堂」「フリースクール」、子供たちを支援につなげる「窓口事業」、「食糧支援」など幅広い事業を実施。





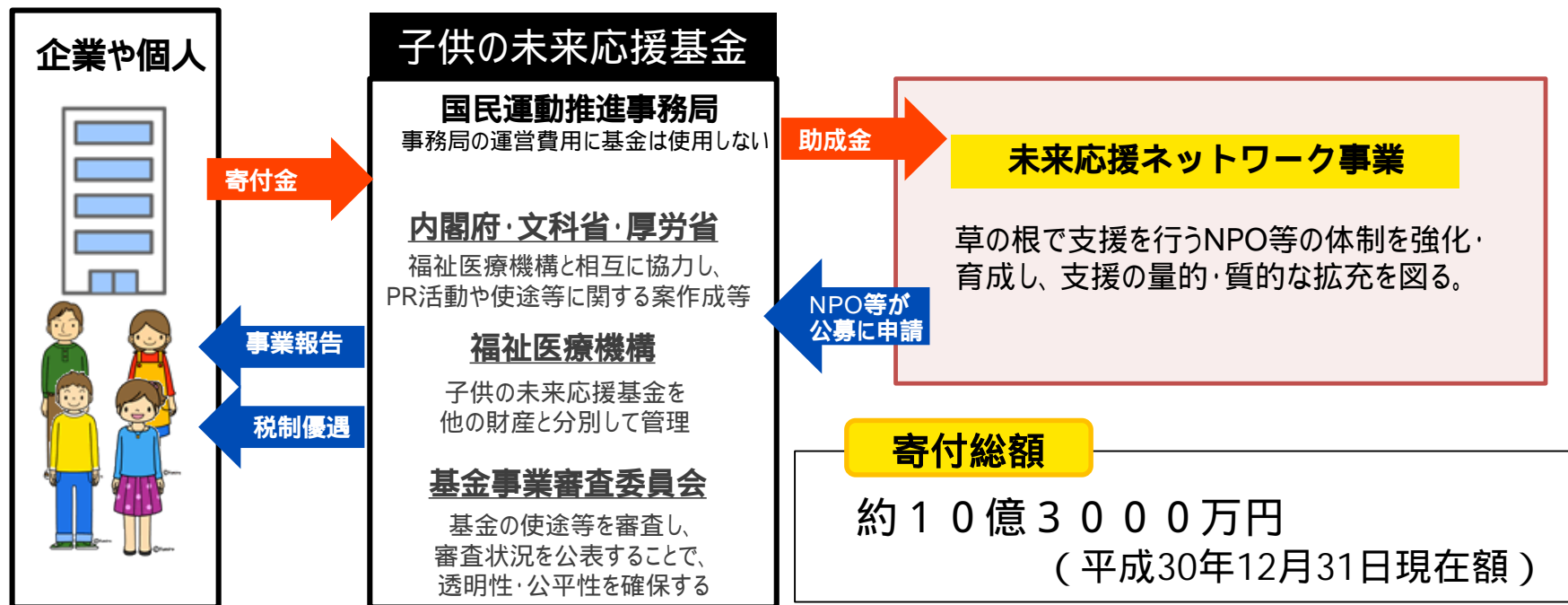
# 參考資料

# 子供の未来応援基金に関する活動実績



平成27年	4月2日	子供の未来応援国民運動 発起人集会 趣意書採択
	8月28日	子どもの貧困対策会議(第3回)にて、子供の未来応援国民運動推進事務局の体制について了承
	10月1日	子供の未来応援国民運動 始動
	10月19日	子供の未来応援国民運動 発起人会議 発起人一同より各界各層へ基金への協力を呼び掛け
平成28年	2~3月	経団連において各種会議を通じ、基金への協力を呼び掛け
	6月27日 ~7月29日	子供の未来応援基金による支援団体の第1回公募実施
	10月25日	子供の未来応援基金による支援団体(NPO等86団体)を決定
	11月8日	子供の未来応援国民運動 一周年の集い
平成29年	2月14日	経団連幹事会講演において、加藤大臣(当時)より基金への協力を呼び掛け
	5月30日	日本商工会議所において、全国の商工会議所宛てに基金への協力を呼びかける通知 発出
	8月31日	子どもの貧困対策会議(第5回)にて、平成29年10月を目途に子供の未来応援基金管 理法人を独立行政法人福祉医療機構とすることについて了承
	10月10日 ~11月10日	子供の未来応援基金による支援団体の第2回公募実施
平成30年	1月19日	子供の未来応援基金による支援団体(NPO等79団体)を決定
	8月7日 ~9月21日	子供の未来応援基金による支援団体の第3回公募実施

# 子供の未来応援基金（未来応援ネットワーク事業）



## 第3回支援

358団体から申請のあった事業の中から、計画性、連携とその効果、戦略的な広報、継続性の観点等から審査を行い、71団体を採択することとなった。

支援予定総額は約2億800万円であり、1団体当たり平均約293万円を支援する（事業類型別の整理は右のとおり）。

第1回は86団体を採択（支援決定総額 約3億1500万円）  
第2回は79団体を採択（支援決定総額 約2億6600万円）

第3回未来応援ネットワーク事業 事業分類別 内訳	団体数(件)
様々な学びを支援する事業	20
居場所の提供・相談支援を行う事業	19
衣食住など生活の支援を行う事業	12
児童又はその保護者の就労を支援する事業	4
児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業	5
その他、貧困の連鎖の解消につながる事業	11

# 企業等による特性を活かした子供の未来応援基金への御協力

## ポイントプログラムの寄付メニュー



(株)NTTドコモは、ポイントプログラム「dポイントクラブ」の利用メニューに、基金への寄付メニューを創設。  
(平成28年1月～)



利用メニュー画面



楽天グループは、「寄付月間」の公式認定企画として、インターネット募金サービス「楽天クラッチ募金」を通じて、楽天ポイント等による基金への寄付受付を実施。



寄付月間バナー

実施期間 / 平成29年12月1日～12月28日  
平成30年11月30日～平成31年1月10日

## 従業員参加型のCSR活動による寄付



日清食品ホールディングス



第22弾「はたら着かた改革 NISSIN BAZAAR」

日清食品ホールディングス(株)は、従業員参加型のCSR活動を実施し、参加費相当額を基金に寄付。

実施期間 / 平成28年4月～9月  
平成28年12月～平成29年4月  
平成29年12月～平成30年7月  
平成30年6月8日

## 店舗などに募金箱を設置



(株)イトーヨーカ堂は、全店舗の会計レジに募金箱を設置。(毎年3月～5月)平成30年から、(株)セブン&アイ・フードシステムズにも拡大して実施。(デニーズ全店舗とファミリーの一部店舗)

実施期間 / 平成28年3月1日～4月14日  
平成29年3月1日～5月31日  
平成30年3月1日～5月31日



店頭ポスター



タマホーム(株)は全店舗に募金箱とポスターを通年設置。  
(平成28年6月～)

## 寄付型自動販売機の設置

売上げ1本につき10円が基金に寄付される、ディック・ブルーナ氏のイラスト入りの寄付型自動販売機。

民間企業等でも続々と展開中。  
(平成30年6月～)



チラシ



内閣府にも設置

# 企業等による特性を活かした子供の未来応援基金への御協力

## 本業を活かした寄付の仕組みを創設



### 古本による寄付のしくみ「こどものみらい古本募金」(平成28年11月～)

読み終えた本等を、提携会社(株)バリューブックス宛てに送ると(合計5点から送料無料)、買取金額が基金に全額寄付される。

対象商品：本、DVD、CDアルバム等



### 物品による寄付のしくみ「子供の未来応援お宝エイド」(平成28年12月～)

不要になった物品を、提携会社TMコミュニケーションサービス(株)宛てに送ると(送料無料)、買取金額に10%上乗せした金額が基金に寄付される。

対象商品：切手、はがき、貴金属、ゲームソフト、楽器等



### 子供服による寄付のしくみ「こども服みらいファ1212ンド」(平成29年10月～)

着られなくなった子供服を提携会社(株)キャリアオンに送ると(送料無料)、買取金額が基金に全額寄付される。原則10点以上。

対象商品：新生児～140サイズまでの子供服 一部量販店商品のブランドは除く



こどものみらい古本募金チラシ



子供の未来応援お宝エイドチラシ



こども服みらいファンドチラシ



# 企業等による特性を活かした子供の未来応援基金への御協力

## 「こどものみらい古本募金」を活用した協力

キヤノンマーケティングジャパングループは、グループ全体で古本の職場回収に取り組み、「こどものみらい古本募金」へ寄付。（平成29年4月～）

Canon



実施の様子(キヤノンMJ 品川本社)

保険ショップ「保険クリニック」では、全国約180店舗において、チラシ及びポスターにより来店した方へ「こどものみらい古本募金」への協力を呼びかけ、店頭で古本の寄付を受け付けている。（平成29年9月～）



配布チラシ

内閣府では、8号館2階ロビーに本等の回収箱を設置し、職員を対象に古本の寄付を呼びかけた。

実施期間 / 平成28年12月20日～21日

平成29年12月20日～26日

平成30年12月19日～26日

平成29年、30年は内閣府・文科省・厚労省・独立行政法人福祉医療機構の同時実施



実施の様子

全国の証券会社約1200店舗において、古本回収ボックスを設置し、来店した方へ「こどものみらい古本募金」への協力を呼びかけている。（平成30年10月～）



実施の様子

## 寄付付き商品の販売

(株)クオカードは、基金への寄付付きのQUOカードを販売。

(株)ポプラ社の協力のもとカードデザインには「かいけつゾロリ」を起用。

(平成28年7月～)



QUOカード

(株)ウイッシュボンは、基金への寄付付きのお菓子「横濱みらい」を販売。（平成28年10月～）



商品パッケージ



商品イメージ

ファッションブランド「グローバルワーク」は、クリスマスのギフトシーズンに販売する有料ギフトボックスの売り上げの5%を基金へ寄付。

実施期間 / 平成29年11月23日～12月25日



配布チラシ

(株)オランダ家は、基金への寄付付きのお菓子「ミッフィーサブレ」を販売。（平成30年9月～）



商品パッケージ

# 企業等による特性を活かした子供の未来応援基金への御協力

## 収益の一部を継続して寄付

総合警備保障(株)(ALSOK)は、個人向けホームセキュリティ契約の収益の一部を継続して寄付。また、ホームセキュリティ契約者向けの季刊誌「Always」に子供の未来応援国民運動ロゴマークを掲載。(平成29年10月～)



季刊誌「Always」

「GREEN DA・KA・RA」ブランド(サントリー食品インターナショナル(株))は、同ブランド商品の売上の一部を子供の未来応援基金へ寄付。また、同ブランド商品を置く一部の自動販売機に、子供の未来応援国民運動のメインイラストを用いたシールを貼付。(平成30年4月～)

「GREEN DA・KA・RA」ブランドのオリジナルソング「いつか大人になるきみへ」を音楽配信サイトで販売。楽曲販売の同社収益の全額を子供の未来応援基金へ寄付。(平成30年5月～)



HPイメージ



自動販売機のシール

楽天グループは、オンライン書店「楽天ブックス」において、子供読書週間特集として、対象の絵本を購入するとその売上の一部が基金に寄付されるキャンペーンを実施。



子供読書週間特集HPイメージ

実施期間 / 平成30年4月2日～5月14日

## イベントにおける募金協力

キッズニアの運営会社KJC GROUP(株)は、チャリティーイベントの参加者を対象に、基金への募金を実施。

- ・キッズニア東京 スポンサーチャリティーナイト 2017
- ・キッズニア甲子園 スポンサーチャリティーナイト 2017 (平成29年6月)
- ・キッズニア東京 スポンサーチャリティーナイト 2018
- ・キッズニア甲子園 スポンサーチャリティーナイト 2018 (平成30年6月)



入場時、1人1000円以上の寄付を依頼



入口の様子

# 子供の未来応援基金への寄付の推移

	合計寄付額	寄付件数	うち法人の 寄付件数
平成27年 12月20日	644万5641円	222	4
平成28年 3月27日	5951万5218円	768	30
6月26日	6億1779万3426円	1270	102
9月25日	6億9155万1022円	1974	142
12月18日	7億5839万5739円	2773	181
平成29年 3月31日	8億350万5023円	3985	227
6月30日	8億3462万7373円	5010	271
9月30日	8億7536万901円	6058	332
12月31日	9億4627万4765円	6748	371
平成30年 3月31日	9億7393万2317円	7273	423
6月30日	9億9019万4349円	7800	457
9月30日	10億154万4012円	8308	491
12月31日	10億3056万9892円	8834	549

# 子供の未来応援基金事業審査委員会

## 役割

次の事項について、審査を行う

- ・ 支援の対象とする事業の内容及び上限額その他の事項
- ・ NPO等への支援金の交付先を選考するための公募の方法及び選考基準
- ・ NPO等への支援金の交付先及び当該交付先へ交付する支援金の内容
- ・ その他委員会の審査が必要と認める事項

## 構成員

**委員9名(経済界3名、地方自治体2名、有識者4名)**

秋 生 修一郎	足立区地域のちから推進部長
荒 木 正	株式会社NTTドコモCSR部部長
金 子 美 香	清水建設株式会社コーポレート企画室副室長
菊 池 まゆみ	藤里町社会福祉協議会会長
草 間 吉 夫	東北福祉大学特任教授
松 村 淳 子	京都府健康福祉部長
宮 田 千夏子	ANAホールディングス株式会社コーポレートブランド・CSR推進部長
宮 本 みち子	放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授
室 田 信 一	首都大学東京人文社会学部人間社会学科准教授